

令和3年度 飯沼中学校生徒会本部役員改選選挙に向けての校長講話

はじめに時間を頂戴し、先月行われました、市内駅伝競走大会について少しだけお話しさせていただきます。昨年度の飯沼中は、新たな伝統を築く、歴史的ながんばりを見せてくれました。今年度はその伝統を引き継ぎ、さらに一步前進することができました。何よりも立派で感動した点は、試合に出た者、残念ながら出られなかった者もいたわけですが、1つのチームとして、試合に出られなかった生徒が、自分がチームの一員として何ができるかを考え、選手をよく支えてくれたこと、そして試合に出る選手は、試合に出られずに悔しい思いをしながらも、自分達選手を支えてくれているということを感じ、その人の分までがんばろうとして、力走していたことがあげられます。開会式や閉会式の態度も立派でした。来年は、今の1、2年生がチームのリーダー的な立ち位置となる2、3年生になります。先輩方を越えることで、先輩に恩返しをし、さらに良い活動となることを期待します。関わったすべての生徒のみなさんと先生方、お疲れさまでした。

さて、本日はこれから、令和3年度の生徒会本部役員の改選選挙に係る、「立ち合い演説会及び投票」が行われます。生徒会活動は、学級活動とともに、学校で行う教育活動の中では、「特別活動」という重要な活動の1つに位置付けられています。私は、これまで市内外の多くの中学校を見る機会がありましたが、この特別活動が盛んな学校は、活気があり、生徒が生き生きとしていました。とりわけ、生徒会活動がしっかりしている学校は、学校全体に規律がみられ、生徒と先生方が良い関係を築き、PTAや地域の方々と一緒になって、学校を盛り上げている学校が多いものです。

本日は、新型コロナウイルスの関係で、体育館に全校生徒が集まることができませんので、リモートによる進行となりますが、みなさんには、是非、一人一人の候補者と応援者の主張、心意気を真剣に聴いて、公正な投票をお願いします。そして、選ばれた新役員さんたちに協力して、この飯沼中学校を大いに盛り上げてもらいたいと思います。

立候補した生徒さんは、みなさん飯沼中を良くしようという高い志や情熱を持った人ばかりだと思います。今回、本部役員の定数に比べ多くの立候補があったのは、それだけ本校を良くしていこうという志を持った人が多いということで、校長はじめ、先生方は喜ばしいことだと思っています。飯沼中を良くしようと思い、立候補した生

徒のみなさんの思い、そして勇気に心からの拍手を贈りたいと思います。

また、生徒会の選挙やその後の生徒会活動を通し、生徒諸君には「有権者」といい、選挙権を持ち、政治に参加することへの意識を持つきっかけにしてほしいと思っています。君たちが有権者となる年齢は18歳です。自らの意思を政治に反映させる日は、そう遠い先の話ではないのです。それまでに政治に参加する意識が備わっていなければなりません。そのため、民主主義の基本である選挙を正しく理解できるよう、学校の生徒会役員選挙を、実際の一般社会で行われている選挙に近い形で行います。具体的には、選挙の告示をはじめ、公正、円滑に選挙を進めるための選挙管理委員会の活動、立候補者や応援者の朝の選挙運動などの選挙活動を行うこと、さらに、投票は実際の選挙で使用している『投票箱』や『投票記載台』などを春日部市選挙管理委員会からお借りして行います。

これから迎える世の中は、技術の進歩や国境を越え、様々な国の人たちの考えや価値観を地球規模で考えていく、グローバル化が益々、進む社会となります。社会科の授業はもとより、新聞やニュースなど様々な情報から、しっかりと自分の意思が持てるようになってほしいと思います。今回の生徒会選挙が有権者としての心がけを作るきっかけになることを願っています。

それでは、立候補者のマニフェストをよく聴いて、しっかりと判断をして生徒会の一員としての責任を果たしてください。

令和3年11月11日 春日部市立飯沼中学校長